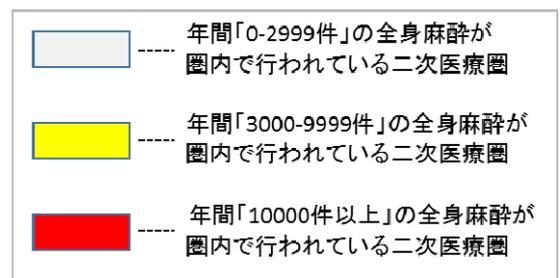
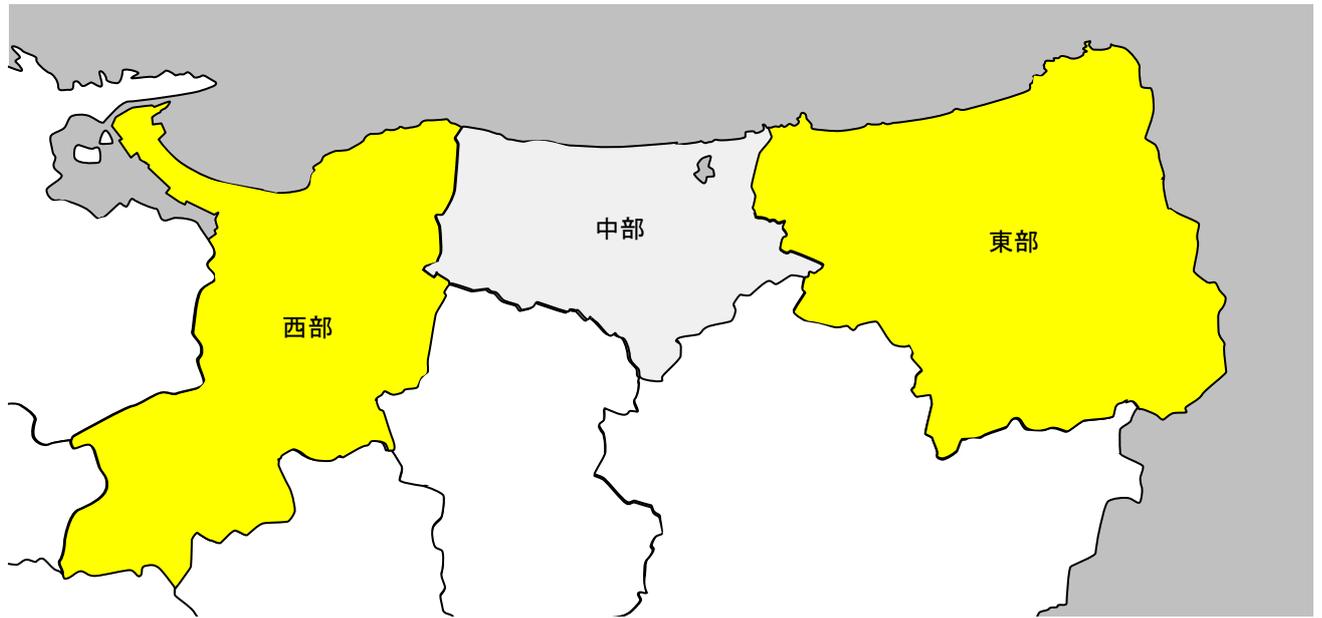


# 31. 鳥取県



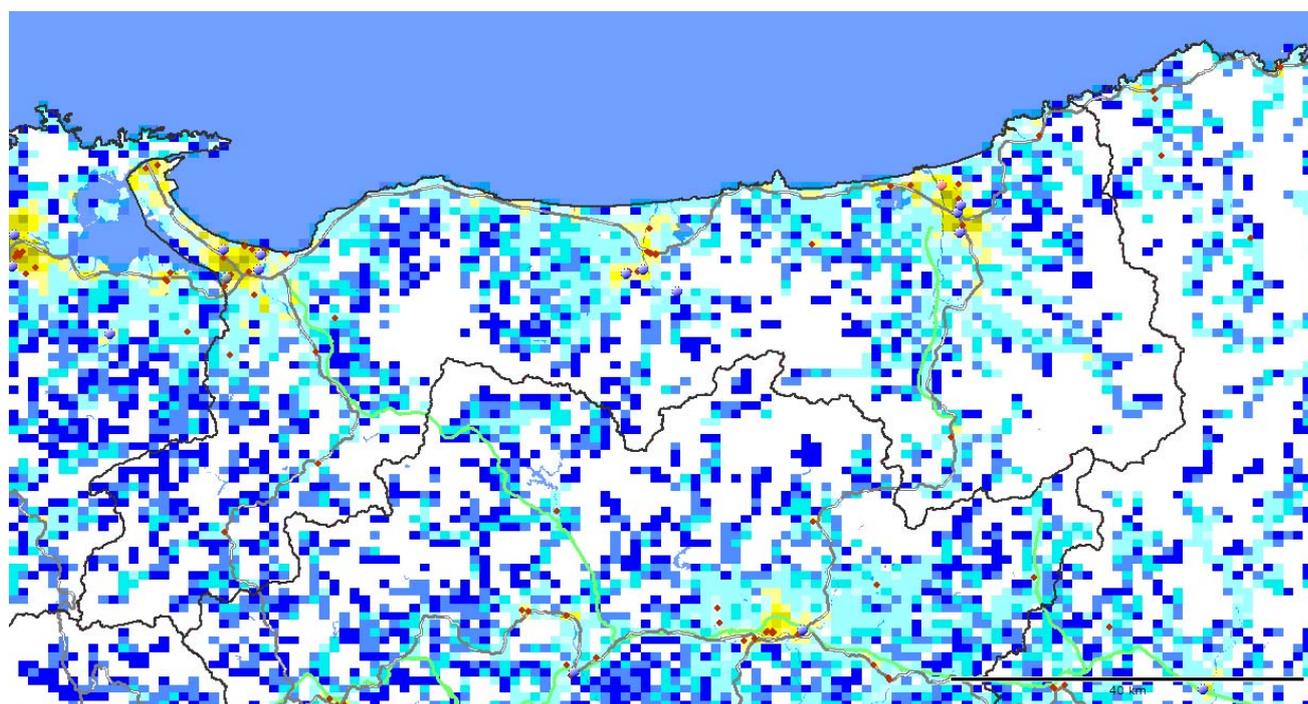
## 31. 鳥取県

### 目次

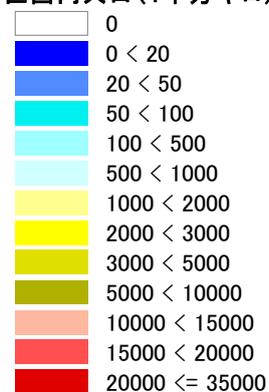
鳥取県.....	31 - 3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料.....	31 - 7
1. 東部医療圏.....	31 - 13
2. 中部医療圏.....	31 - 17
3. 西部医療圏.....	31 - 21

# 31. 鳥取県

人口分布<sup>1</sup> (1 km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



<sup>1</sup> 鳥取県を1 km<sup>2</sup>区画(1 km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## (鳥取県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

### 【地域の概要】

- \*人口、面積など： 鳥取県は、総人口約 567 千人(2015 年推計)、面積 3507 km<sup>2</sup>、人口密度は 162 人/km<sup>2</sup>である。
- \*人口の将来予測： 鳥取県の総人口は 2025 年に 520 千人へと減少し(2015 年比-8%)、2040 年に 441 千人へと減少する(2025 年比-15%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 90 千人が、2025 年にかけて 105 千人へと増加し(2015 年比+17%)、2040 年には 106 千人へと増加する(2025 年比+1%)ことが予想される。
- \*医療費と介護給付費： 鳥取県の一人当たり医療費(国保)は 336 千円(偏差値 56)、介護給付費は 306 千円(偏差値 65)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

### 【医療の現状】

- \*入院医療の充実度： 鳥取県の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は 1.33、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.28 で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。
- \*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 55(病院医師数 56、診療所医師数 53)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は多い。総看護師数の偏差値は 58 と多い。
- \*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 58 で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は 58 と多い。
- \*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 52 と療養病床数は全国平均レベルである。
- \*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 62 と多く、回復期病床数は偏差値 63 と多い。
- \*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 54 で精神病床数はやや多い。
- \*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 56 で診療所数は多い。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 鳥取県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、10170 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 60)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 6787 床(偏差値 63)、高齢者住宅等が 3383 床(偏差値 50)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅系は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、8865 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 66)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 76、特別養護老人ホーム 52、介護療養型医療施設 49、有料老人ホーム 42、軽費ホーム 58、グループホーム 53、サ高住 58 である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 48 と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値 45 とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、1039 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 47)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

<sup>2</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

## 【医療と介護の需要予測】

\*病床機能報告制度による病床機能別病床数と2025年必要病床数(推計)<sup>3</sup>

①合計病床数： 病床機能報告制度による2014年の合計病床数は6924床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は5900床であり、その差は-1024床(-15%)である。

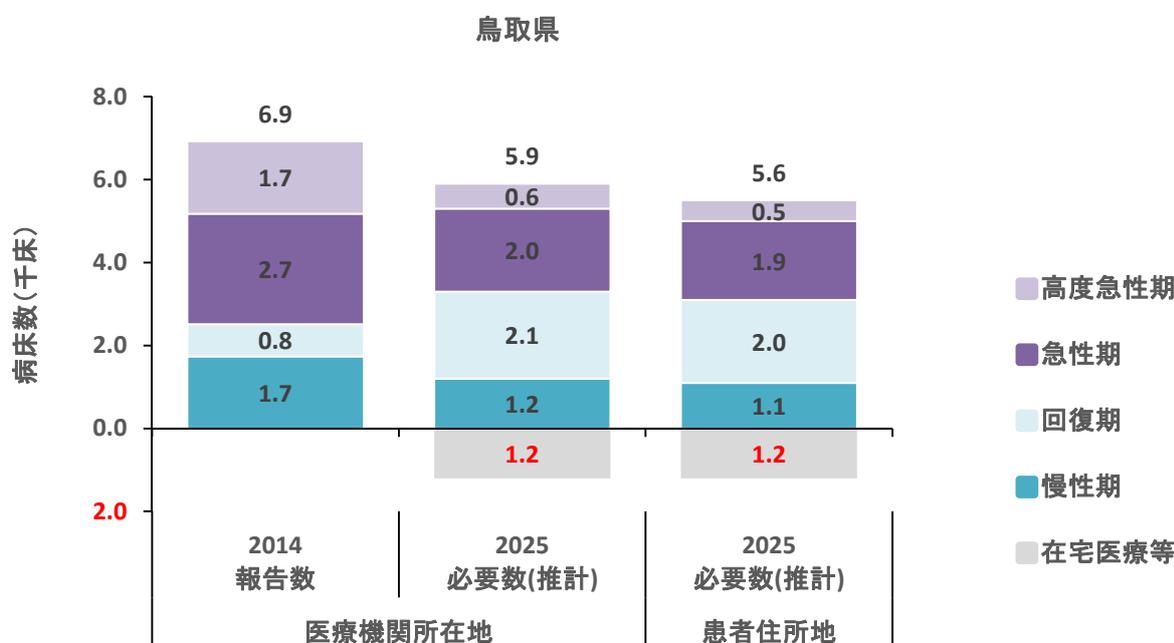
②高度急性期病床数： 高度急性期病床の報告は1748床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は600床であり、その差は-1148床(-66%)である。

③急性期病床数： 急性期病床の報告は2662床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は2000床であり、その差は-662床(-25%)である。

④回復期病床数： 回復期病床の報告は775床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は2100床であり、その差は+1325床(+171%)である。

⑤慢性期病床数： 慢性期病床の報告は1739床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は1200床であり、その差は-539床(-31%)である。

⑥在宅医療等： 2025年の追加対応患者数(推計)(医療機関所在地)は1200人である。



※二次医療圏別必要病床数(推計)は公表された時点で資料編に追加予定

\*介護の2040年の需要予測： 現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は+17%であり、介護の充足度は高い。2040年の介護充足度指数は+3%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

<sup>3</sup>必要病床数(推計)は、都道府県については、医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会第1次報告の推計結果。

医療機関所在地ベース：患者の流入が現状のまま継続するものとして、一定の仮定を置いて推計。患者住所地ベース：患者の流入がなく、入院が必要な全ての患者は住所地の二次医療圏の医療機関の病床に入院するものとして、一定の仮定を置いて推計。

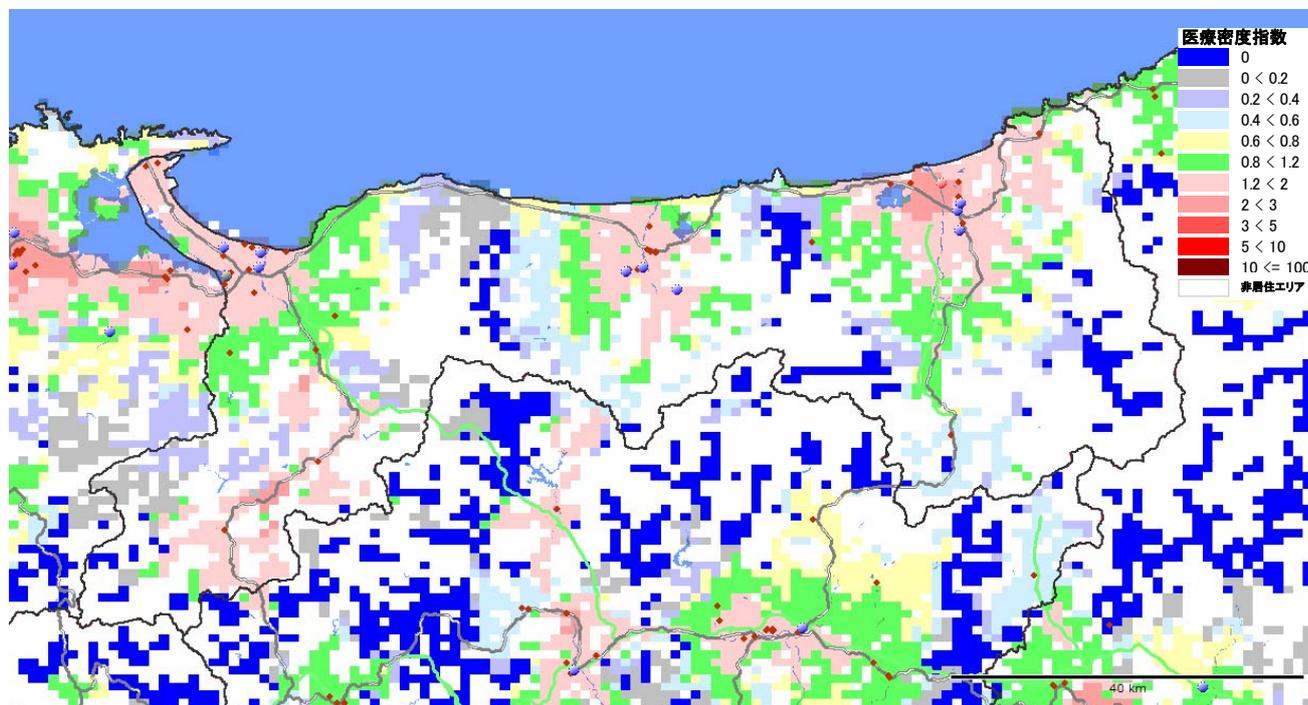
合計病床数には無回答分が含まれているため、合計病床数と各機能別病床数の合計値は合致しない。

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベット数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

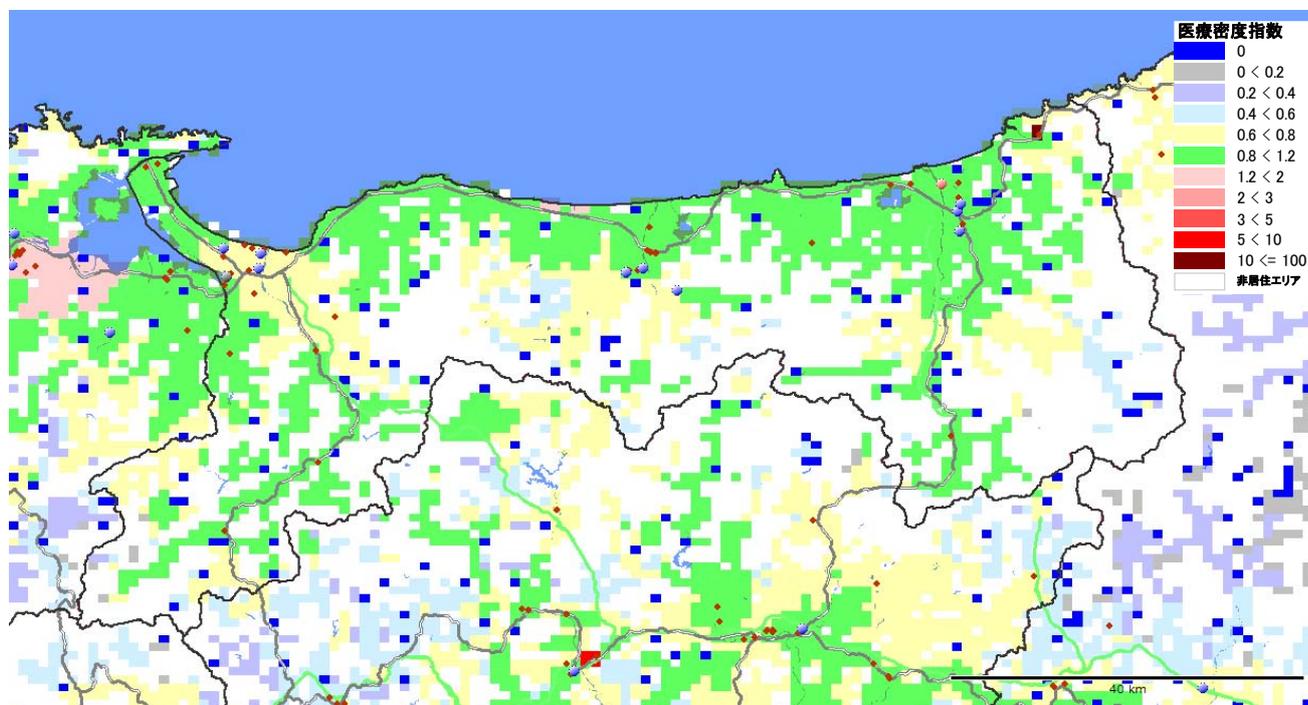
# 31. 鳥取県

## 2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 31-1 急性期医療密度指数マップ



図表 31-2 慢性期医療密度指数マップ



<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料<sup>1</sup>

資\_図表 31-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,661		372,903		339.7		27%	120,700	107,439	16,459	21,775	22,232	-5%	-11%	32%	2%
鳥取県	567	47位	3,507	41位	161.7		30%	520	441	90	105	106	-8%	-15%	17%	1%
東部	231	41%	1,519	43%	152.4	地方都市型	28%	213	182	35	40	43	-8%	-15%	14%	8%
中部	104	18%	781	22%	132.9	過疎地域型	32%	94	78	18	20	20	-10%	-17%	11%	0%
西部	232	41%	1,208	34%	192.0	地方都市型	31%	213	181	38	45	43	-8%	-15%	18%	-4%
出典	<人口、75歳以上人口(2015年、2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月 <面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年															

資\_図表 31-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度指数 (%)		
			2015年	2025年	2040年
全国	1.00	1.00	0.0%	-32.3%	-32.8%
鳥取県	1.33	1.28	16.9%	3.7%	3.0%
東部	1.43	1.19	0.4%	-14.9%	-23.2%
中部	1.20	1.33	17.5%	8.6%	10.0%
西部	1.30	1.07	20.8%	5.7%	9.6%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。 <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。				

資\_図表 31-3 医療費、介護給付費<sup>2</sup>

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	310	(42)	250	(37)
鳥取県	336	56	306	65
東部	341	57	309	66
中部	337	56	302	64
西部	366	64	305	65
出典	<一人あたり医療費>平成24年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成25年度介護保険事業状況報告(年報) 平成25年度累計(平成25年3月サービス分から平成26年2月サービス分まで)			

<sup>1</sup>日医総研 WP no.323 「地域の医療提供体制の現状と将来・都道府県別・二次医療圏別データ集(2014年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

<sup>2</sup>複数医療圏にまたがる広域連合の医療費・介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

31. 鳥取県

資\_図表 31-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,540		6.7	(4.2)	100,528		79	(19.6)
鳥取県	45	0.5%	7.9	53	517	0.5%	91	56
東部	14	31%	6.0	48	191	37%	83	52
中部	11	24%	10.6	59	87	17%	84	52
西部	20	44%	8.6	54	239	46%	103	62
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

資\_図表 31-5 診療所数（全体、無床、有床）

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	100,528		79	(19.6)	91,279		72	(19.0)	9,249		7.3	(7.0)
鳥取県	517	0.5%	91	56	464	0.5%	82	55	53	0.6%	9.3	53
東部	191	37%	83	52	178	38%	77	53	13	25%	5.6	48
中部	87	17%	84	52	76	16%	73	51	11	21%	10.6	55
西部	239	46%	103	62	210	45%	91	60	29	55%	12.5	57
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

資\_図表 31-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,573,772		1,243	(510)	121,342		96	(111)	1,695,114		1,338	(576)
鳥取県	8,817	0.6%	1,554	56	654	0.5%	115	52	9,471	0.6%	1,670	56
東部	3,553	40%	1,535	56	164	25%	71	48	3,717	39%	1,606	55
中部	1,613	18%	1,554	56	134	20%	129	53	1,747	18%	1,683	56
西部	3,651	41%	1,574	57	356	54%	153	55	4,007	42%	1,728	57
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資\_図表 31-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	897,380		708	(232)	328,195		259	(213)	339,780		268	(219)
鳥取県	5,042	0.6%	889	58	1,746	0.5%	308	52	1,983	0.6%	350	54
東部	1,939	38%	838	56	706	40%	305	52	876	44%	378	55
中部	1,002	20%	966	61	329	19%	317	53	278	14%	268	50
西部	2,101	42%	906	58	711	41%	307	52	829	42%	357	54
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

資\_図表 31-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数<sup>3</sup>

二次医療圏	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	74,508		59	(46)	21,119		36	(44)
鳥取県	669	0.9%	118	63	244	1.2%	43	52
東部	227	34%	98	58	17	7%	7	44
中部	162	24%	156	71	113	46%	109	66
西部	280	42%	121	63	114	47%	49	53
出典	地方厚生局データを活用した全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会の独自調査 平成27年3月				地方厚生局データを活用した地域包括ケア病棟協会の独自調査 平成27年5月			

資\_図表 31-9 全身麻酔件数、分娩件数（年間）

二次医療圏	全身麻酔 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	分娩件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,577,228		2,035	(946)	1,062,024		838	(291)
鳥取県	15,888	0.6%	2,801	58	5,232	0.5%	922	53
東部	5,208	33%	2,250	52	1,680	32%	726	46
中部	2,604	16%	2,509	55	1,056	20%	1,018	56
西部	8,076	51%	3,482	65	2,496	48%	1,076	58
出典	平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

資\_図表 31-10 医師数（総数、病院医師数、診療所医師数）

二次医療圏	総医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	328,427		259	(89)	206,659		163	(65)	121,769		96	(30)
鳥取県	1,743	0.5%	307	55	1,140	0.6%	201	56	603	0.5%	106	53
東部	551	32%	238	48	335	29%	145	47	216	36%	93	49
中部	237	14%	228	46	142	12%	137	46	95	16%	91	48
西部	956	55%	412	67	663	58%	286	69	293	49%	126	60
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

<sup>3</sup> 復興東信越厚生局、近畿厚生局のデータは入手できていないため、合計値には含んでいない。人口あたり病床数（全国値）の算出にあたっては、データを入手できていない地域の人口は割合で計算している。

31. 鳥取県

資\_図表 31-11 看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	看護師数				病院看護師数				診療所看護師数			
	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,070,056		845	(286)	889,314		702	(241)	180,742		143	(74)
鳥取県	6,153	0.6%	1,085	58	5,262	0.6%	928	59	890	0.5%	157	52
東部	2,463	40%	1,064	58	2,102	40%	908	59	360	40%	156	52
中部	1,132	18%	1,090	59	948	18%	914	59	183	21%	177	55
西部	2,559	42%	1,103	59	2,212	42%	954	60	347	39%	149	51
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

資\_図表 31-12 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数				薬剤師数			
	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	111,708		88	(49)	280,052		221	(94)
鳥取県	829	0.7%	146	62	1,082	0.4%	191	47
東部	253	31%	109	54	408	38%	176	45
中部	157	19%	151	63	185	17%	178	45
西部	420	51%	181	69	489	45%	211	49
出典	平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成24年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成24年12月			

資\_図表 31-13 在宅医療施設数（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院）

二次医療圏	在宅療養支援診療所				在宅療養支援病院			
	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,364		0.9	(0.5)	1,027		0.1	(0.1)
鳥取県	70	0.5%	0.8	48	3	0.3%	0.0	45
東部	26	37%	0.7	47	1	33%	0.0	44
中部	11	16%	0.6	44	1	33%	0.1	49
西部	33	47%	0.9	50	1	33%	0.0	44
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成26年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成26年11月			

資\_図表 31-14 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数				介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,572,585		96	(16)	966,631		59	(13)	605,954		37	(14)
鳥取県	10,170	0.6%	113	60	6,787	0.7%	75	63	3,383	0.6%	37	50
東部	3,198	31%	92	48	2,473	36%	71	60	725	21%	21	39
中部	2,149	21%	118	64	1,440	21%	79	66	709	21%	39	52
西部	4,823	47%	129	70	2,874	42%	77	64	1,949	58%	52	61
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資\_図表 31-15 老人保健施設（老健）定員数、特別養護老人ホーム（特養）定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設（老健）定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム （特養） 定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	357,540		22	(5.7)	539,475		33	(10.2)	69,616		4.2	(4.2)
鳥取県	3,311	0.9%	37	76	3,136	0.6%	35	52	340	0.5%	3.8	49
東部	917	28%	26	58	1,274	41%	37	54	282	83%	8.1	59
中部	819	25%	45	91	614	20%	34	51	7	2%	0.4	41
西部	1,575	48%	42	85	1,248	40%	33	50	51	15%	1.4	43
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 31-16 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	209,255		12.7	(10.0)	20,481		1.2	(1.9)	186,381		11.3	(5.6)
鳥取県	448	0.2%	5.0	42	242	1.2%	2.7	58	1,197	0.6%	13.2	53
東部	77	17%	2.2	40	70	29%	2.0	54	270	23%	7.8	44
中部	0	0%	0	37	0	0%	0	43	432	36%	23.8	72
西部	371	83%	9.9	47	172	71%	4.6	68	495	41%	13.2	53
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 31-17 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住 （全施設）	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 （特定 施設）	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 （非特定 施設）	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	189,837		11.5	(6.2)	9,386		0.6	(1.2)	180,451		11.0	(5.9)
鳥取県	1,496	0.8%	16.6	58	154	1.6%	1.7	59	1,342	0.7%	14.8	57
東部	308	21%	8.9	46	40	26%	1.2	55	268	20%	7.7	44
中部	277	19%	15.2	56	0	0%	0	45	277	21%	15.2	57
西部	911	61%	24.3	71	114	74%	3.0	70	797	59%	21.2	67
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 31-18 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）

二次医療圏	介護サービス従事 看護師数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 （施設）	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 （訪問）	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	153,515		9.3	(2.5)	116,114		7.1	(2.3)	37,402		2.3	(0.8)
鳥取県	1,052	0.7%	11.6	59	813	0.7%	9.0	58	239	0.6%	2.6	55
東部	426	40%	12.3	62	351	43%	10.1	63	75	31%	2.2	49
中部	176	17%	9.7	51	134	17%	7.4	51	41	17%	2.3	50
西部	451	43%	12.0	61	328	40%	8.7	57	123	51%	3.3	62
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

31. 鳥取県

資\_図表 31-19 介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数				介護職員数（介護施設等）				介護職員数（在宅）			
	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,449,644		88	(15.7)	1,230,764		75	(14.6)	218,879		13.3	(5.4)
鳥取県	9,904	0.7%	110	64	8,865	0.7%	98	66	1,039	0.5%	11.5	47
東部	3,630	37%	105	61	3,286	37%	95	64	344	33%	9.9	44
中部	2,094	21%	115	67	1,896	21%	104	70	198	19%	10.9	46
西部	4,180	42%	111	65	3,684	42%	98	66	497	48%	13.2	50
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 31-20 在宅医療・介護サービス利用者数（月間）

二次医療圏	在宅医療利用者数				訪問看護利用者数				訪問介護利用者数			
	在宅医療利用者数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護利用者数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護利用者数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	733,366		45	(24)	349,081		21	(9)	1,423,393		86	(30)
鳥取県	4,692	0.6%	52	53	1,665	0.5%	18	47	5,718	0.4%	63	42
東部	1,593	34%	46	51	511	31%	15	43	2,015	35%	58	41
中部	732	16%	40	48	328	20%	18	47	1,390	24%	76	47
西部	2,367	50%	63	58	826	50%	22	51	2,313	40%	62	42
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 31-21 公的病院病床数、民間病院病床数

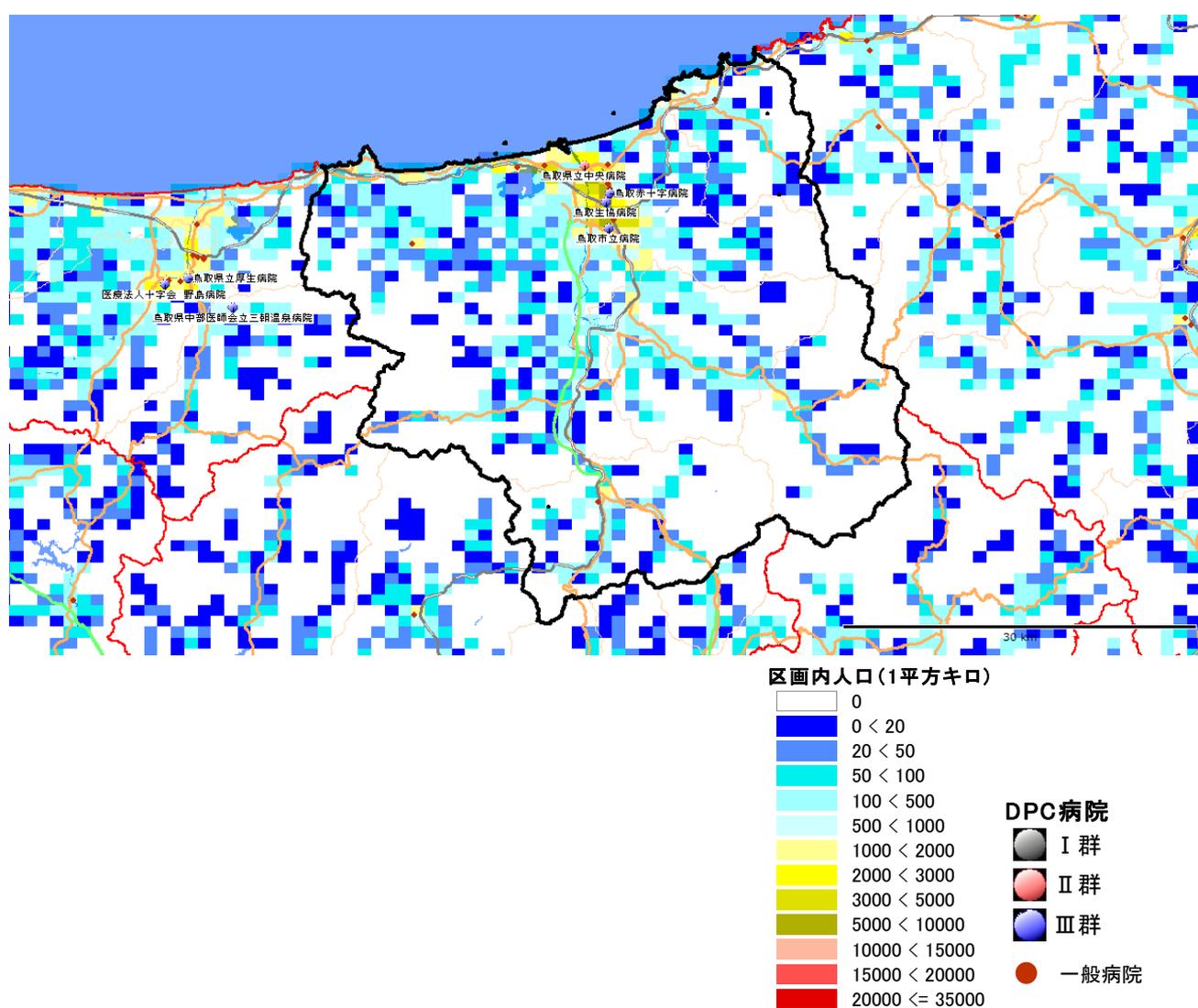
二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
鳥取県	4,529	3,791	340	4,219	1,163	1,537	76.5%	60	18.1%	54
東部	1,941	1,599	97	1,608	340	715	82.5%	62	11.9%	51
中部	542	443	95	1,051	553	220	44.5%	47	30.2%	59
西部	2,046	1,749	148	1,560	270	602	86.6%	64	19.7%	55
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

# とうぶ

## 31-1. 東部医療圏

構成市区町村<sup>1</sup> 鳥取市,岩美町,若桜町,智頭町,八頭町

人口分布<sup>2</sup> (1 km<sup>2</sup>区画単位)



<sup>1</sup> 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

<sup>2</sup> 東部医療圏を1 km<sup>2</sup>区画(1 km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## (東部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 東部(鳥取市)は、総人口約 231 千人(2015 年推計)、面積 1519 km<sup>2</sup>、人口密度は 152 人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 東部の総人口は 2025 年に 213 千人へと減少し(2015 年比-8%)、2040 年に 182 千人へと減少する(2025 年比-15%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 35 千人が、2025 年にかけて 40 千人へと増加し(2015 年比+14%)、2040 年には 43 千人へと増加する(2025 年比+8%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 東部の一人当たり医療費(国保)は 341 千円(偏差値 57)、介護給付費は 309 千円(偏差値 66)であり、医療費は高く、介護給付費は非常に高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 東部の一人当たり急性期医療密度指数<sup>3</sup>は 1.43、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.19 で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 48(病院医師数 47、診療所医師数 49)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにはほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は 58 と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 56 で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は 52 と全国平均レベルである。東部には、年間全身麻酔件数が 1000 例以上の鳥取赤十字病院、鳥取市立病院、鳥取県立中央病院(Ⅱ群・救命)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 52 と療養病床数は全国平均レベルである。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 54 とやや多く、回復期病床数は偏差値 58 と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 55 で精神病床数はやや多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 52 で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 東部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3198 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が 2473 床(偏差値 60)、高齢者住宅等が 725 床(偏差値 39)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3286 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 64)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 58、特別養護老人ホーム 54、介護療養型医療施設 59、有料老人ホーム 40、軽費ホーム 54、グループホーム 44、サ高住 46 である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 47 とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値 44

<sup>3</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

と少ない。介護職員（在宅）の合計は、344人(75歳以上1000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

#### 【医療と介護の需要予測】

**\*介護の2040年の需要予測：** 現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は±0%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040年の介護充足度指数は-23%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

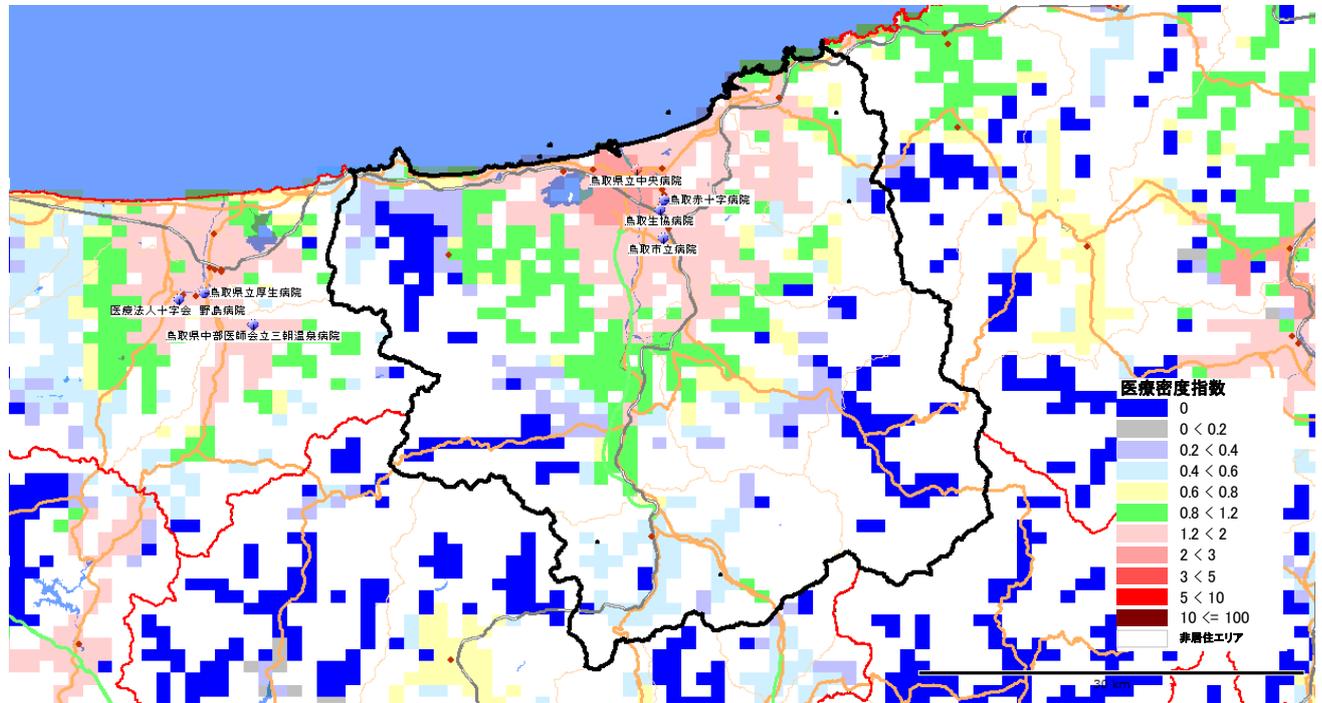
---

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推定)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

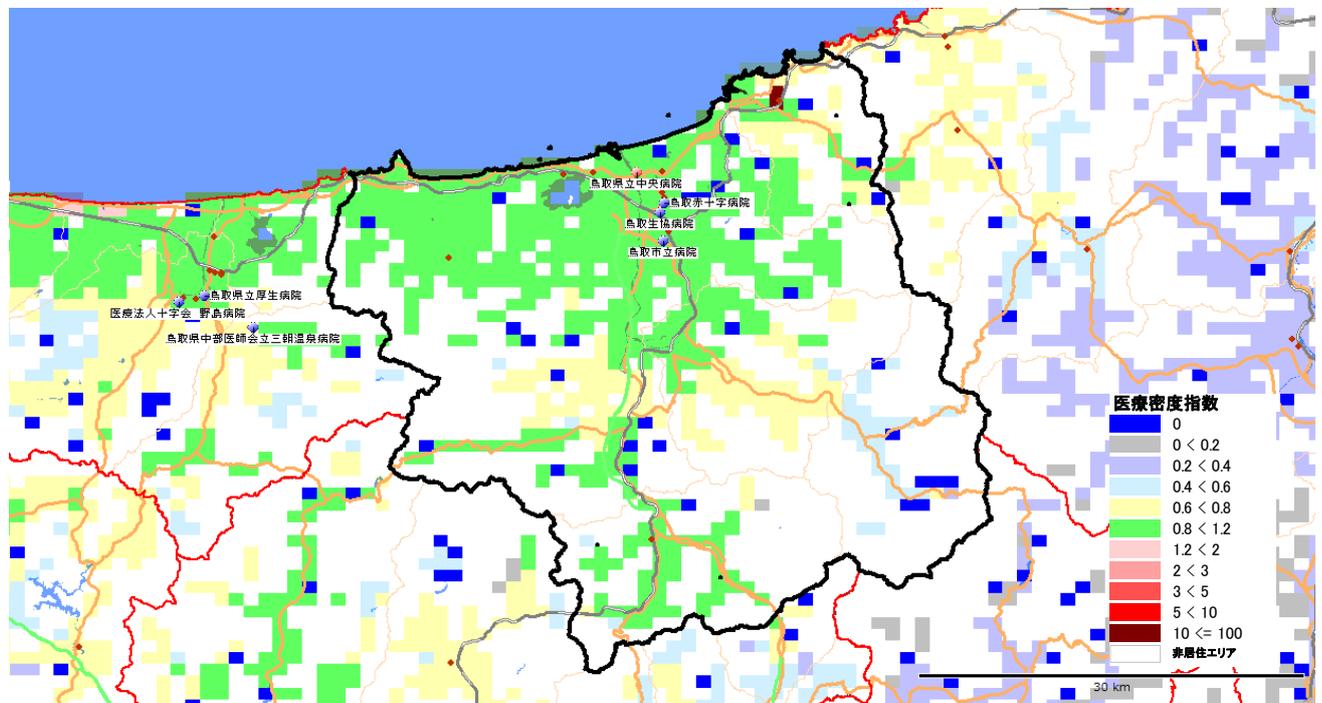
## 31. 鳥取県

### 2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 31-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表 31-1-2 慢性期医療密度指数マップ

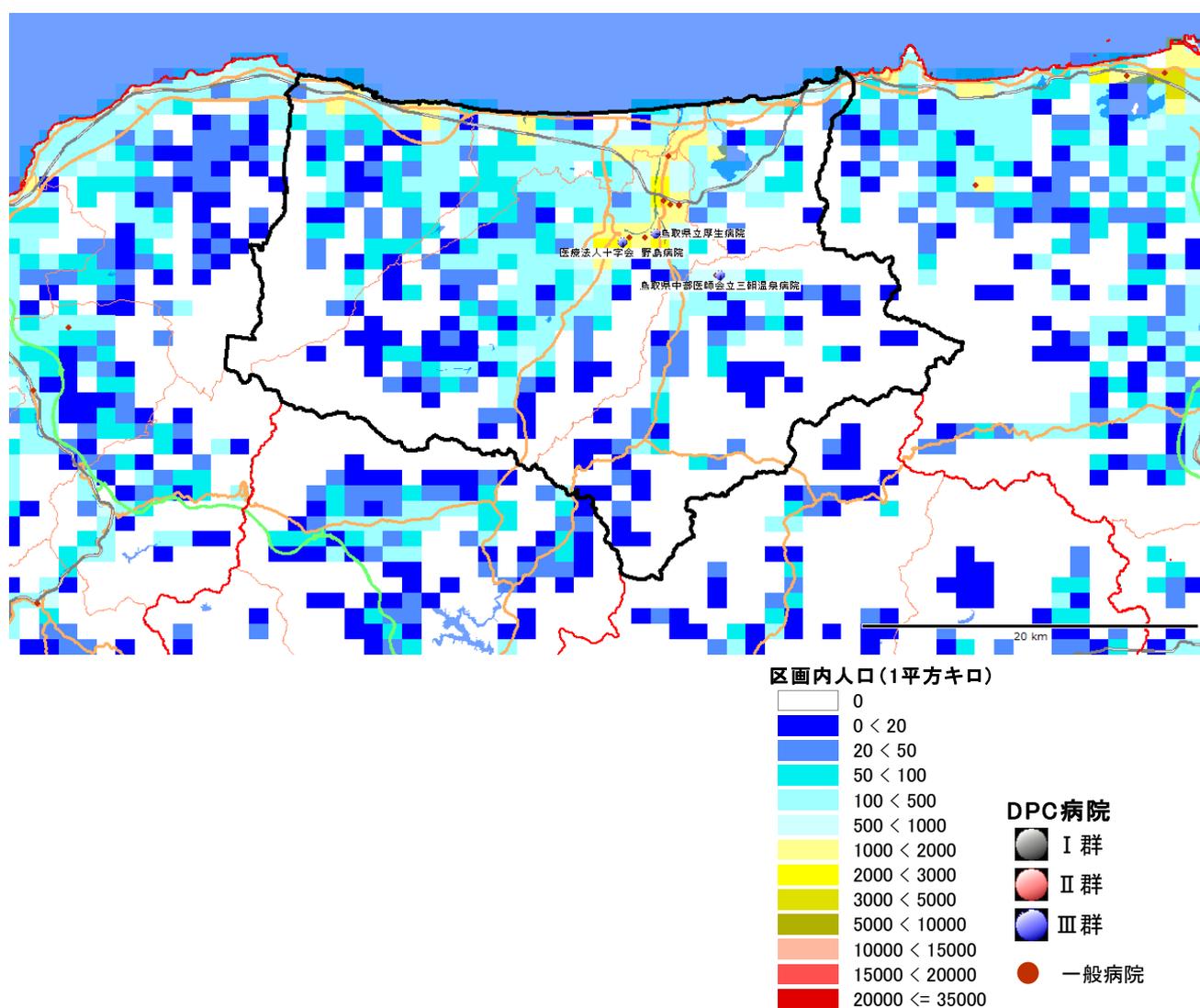


<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

## ちゅうぶ 31-2. 中部医療圏

構成市区町村<sup>1</sup> 倉吉市,三朝町,湯梨浜町,琴浦町,北栄町

人口分布<sup>2</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



<sup>1</sup> 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

<sup>2</sup> 中部医療圏を1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## (中部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 中部(倉吉市)は、総人口約 104 千人(2015 年推計)、面積 781 km<sup>2</sup>、人口密度は 133 人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 中部の総人口は 2025 年に 94 千人へと減少し(2015 年比-10%)、2040 年に 78 千人へと減少する(2025 年比-17%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 18 千人が、2025 年にかけて 20 千人へと増加し(2015 年比+11%)、2040 年には 20 千人とほぼ変わらない(2025 年比±0%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 中部の一人当たり医療費(国保)は 337 千円(偏差値 56)、介護給付費は 302 千円(偏差値 64)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 中部の一人当たり急性期医療密度指数<sup>3</sup>は 1.2、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.33 で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 46(病院医師数 46、診療所医師数 48)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は 59 と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 61 で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は 55 とやや多い。中部には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の鳥取県立厚生病院がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 53 と療養病床数はやや多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 63 と多く、回復期病床数は偏差値 71 と非常に多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 50 で精神病床数は全国平均レベルである。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 52 で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 中部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2149 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 64)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 1440 床(偏差値 66)、高齢者住宅等が 709 床(偏差値 52)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回り、高齢者住宅系は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1896 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 70)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 91、特別養護老人ホーム 51、介護療養型医療施設 41、有料老人ホームなし(偏差値 37)、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 72、サ高住 56 である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 44 と少なく、在宅療養支援病院は偏差値 49 と

<sup>3</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

全国平均レベルである。介護職員（在宅）の合計は、198人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

#### 【医療と介護の需要予測】

**\*介護の2040年の需要予測：**現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は+17%であり、介護の充足度は高い。2040年の介護充足度指数は+10%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

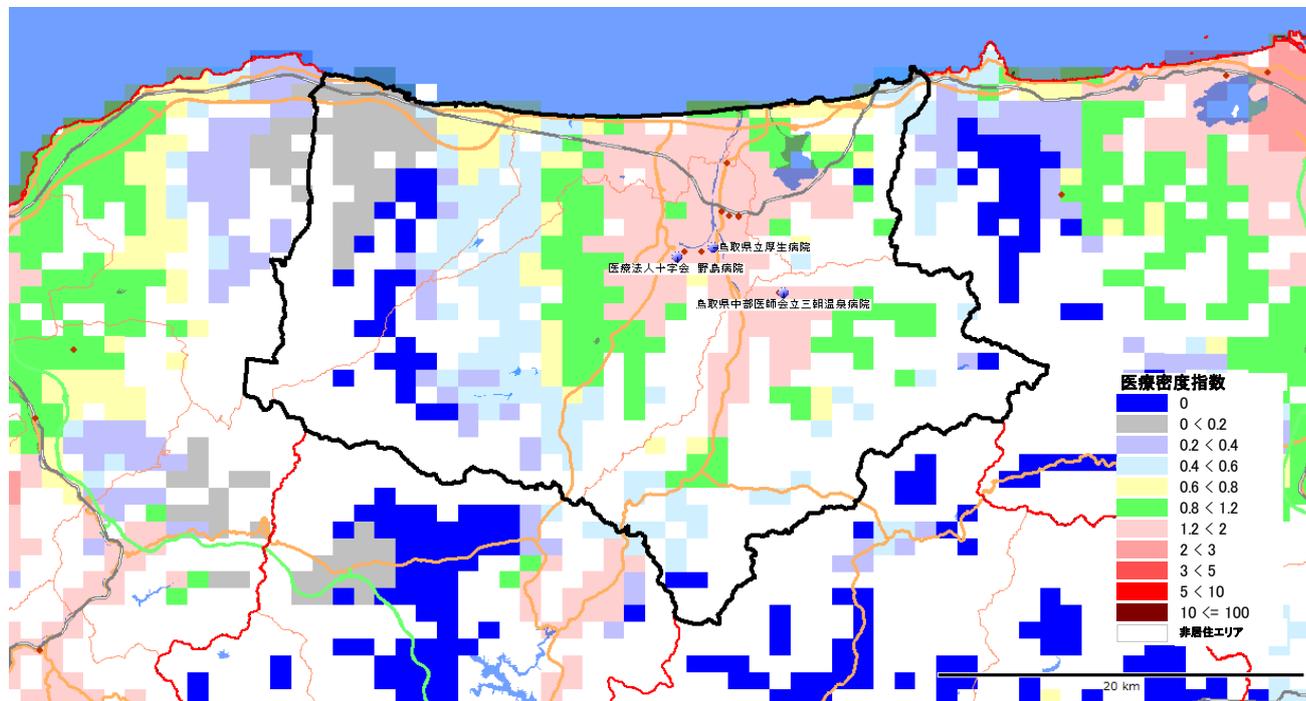
---

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推定)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

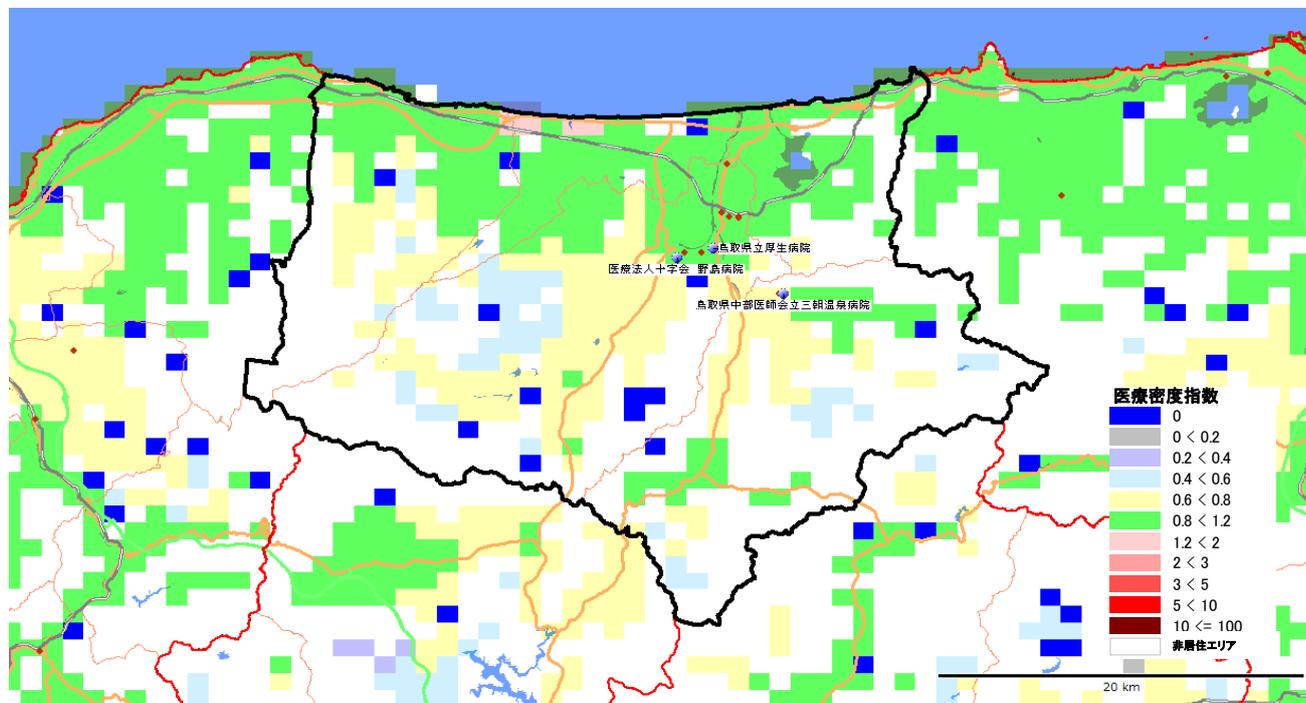
## 31. 鳥取県

### 2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 31-2-1 急性期医療密度指数マップ



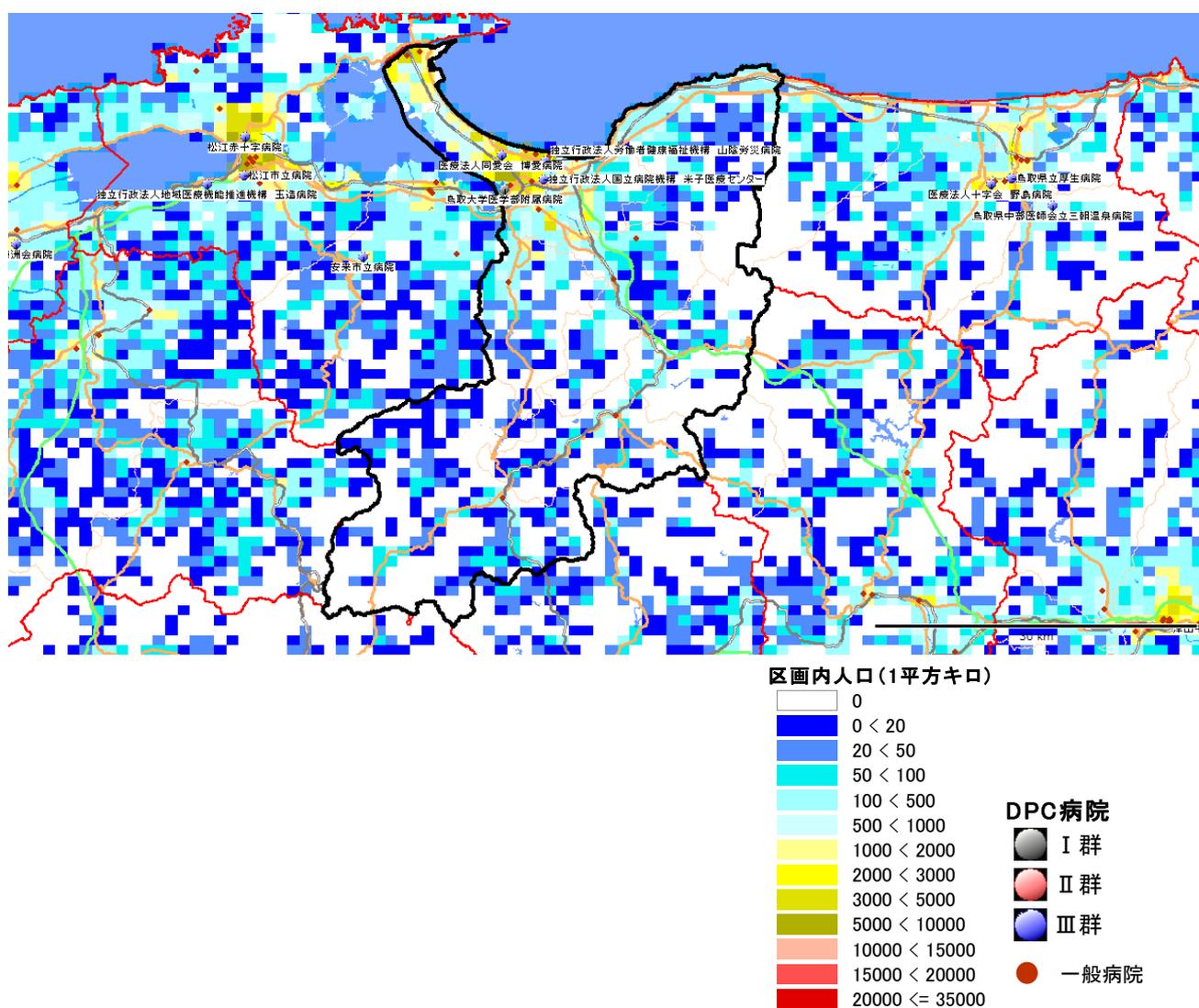
図表 31-2-2 慢性期医療密度指数マップ



<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

# 31-3. せいぶ 西部医療圏

構成市区町村<sup>1</sup> 米子市,境港市,日吉津村,大山町,南部町,伯耆町,日南町,日野町,江府町  
 人口分布<sup>2</sup> (1 km<sup>2</sup>区画単位)



<sup>1</sup> 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

<sup>2</sup> 西部医療圏を1 km<sup>2</sup>区画(1 km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000 人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000 ~10,000 人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000 人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## (西部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など：西部(境港市)は、総人口約 232 千人(2015 年推計)、面積 1208 km<sup>2</sup>、人口密度は 192 人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測：西部の総人口は 2025 年に 213 千人へと減少し(2015 年比-8%)、2040 年に 181 千人へと減少する(2025 年比-15%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 38 千人が、2025 年にかけて 45 千人へと増加し(2015 年比+18%)、2040 年には 43 千人へと減少する(2025 年比-4%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費：西部の一人当たり医療費(国保)は 366 千円(偏差値 64)、介護給付費は 305 千円(偏差値 65)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度：西部の一人当たり急性期医療密度指数<sup>3</sup>は 1.3、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.07 で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

\*医師・看護師の現状：総医師数の偏差値が 67(病院医師数 69、診療所医師数 60)と、総医師数は非常に多く、病院医師数は非常に多く、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は 59 と多い。

\*一般病床等の現状：人口当たりの一般病床の偏差値は 58 で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は 65 と多い。西部には、年間全身麻酔件数が 2000 例以上の鳥取大学医学部附属病院(I 群・救命)、1000 例以上の山陰労災病院、米子医療センターがある。

\*療養病床の現状：人口当たりの療養病床の偏差値は 52 と療養病床数は全国平均レベルである。

\*リハビリの現状：総療法士数は偏差値 69 と非常に多く、回復期病床数は偏差値 63 と多い。

\*精神病床の現状：人口当たりの精神病床の偏差値は 54 で精神病床数はやや多い。

\*診療所の現状：人口当たりの診療所数の偏差値は 62 で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状：西部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4823 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 70)と全国平均レベルを大きく上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 2874 床(偏差値 64)、高齢者住宅等が 1949 床(偏差値 61)である。介護保険施設、高齢者住宅系ともに全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3684 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 66)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 85、特別養護老人ホーム 50、介護療養型医療施設 43、有料老人ホーム 47、軽費ホーム 68、グループホーム 53、サ高住 71 である。

\*在宅ケアの現状：在宅療養支援診療所は偏差値 50 と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院

<sup>3</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

は偏差値 44 と少ない。介護職員（在宅）の合計は、497 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 50)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

#### 【医療と介護の需要予測】

**\*介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は+21%であり、介護の充足度は高い。2040 年の介護充足度指数は+10%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

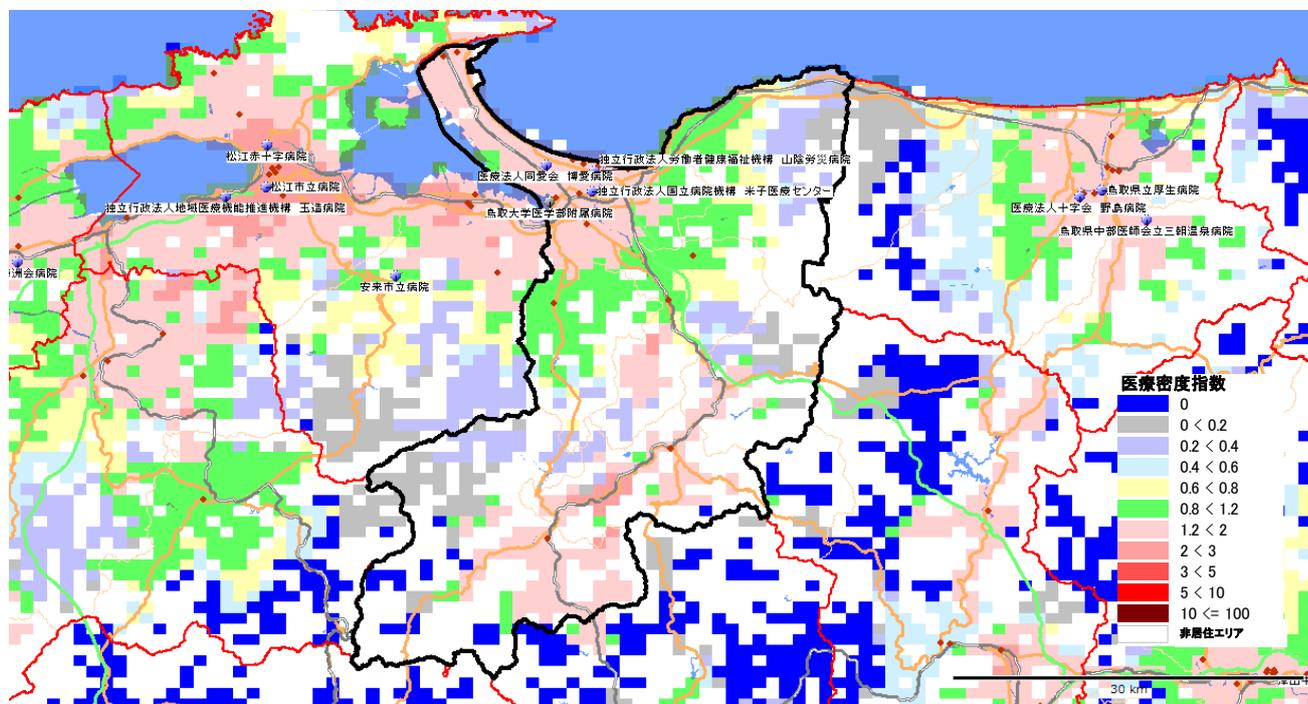
---

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均(95.5 床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

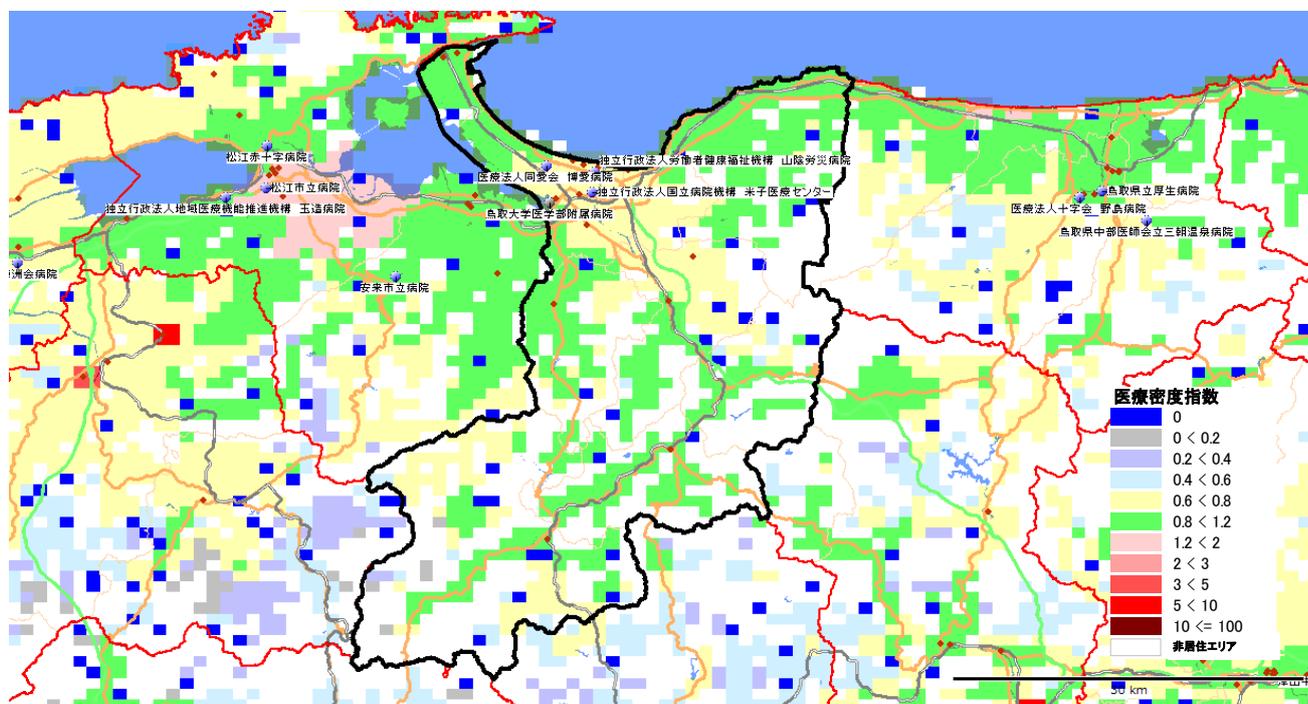
## 31. 鳥取県

### 2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 31-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表 31-3-2 慢性期医療密度指数マップ



<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。